


第5回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解	解説
問1	1 どんぐりころころ	童謡「どんぐりころころ」は、松島町出身の青木存義(ながよし)が文部省在職中に、松島で過ごした幼い日を想い作詞したものです。観瀾亭松島博物館や松島第五小学校には歌碑が建てられています。 【その他選択肢】 2.「うさぎとかめ」-作曲 仙台出身 納所弁次郎 3.「おもいでアルバム」-作詞 仙台出身 増子とし 4.「ちいさい秋みつけた」-作曲 母が仙台出身 サトウハチロー
問2	3 ユーユー	昭和56年に、「ブクブク」が当時世界最長となる飼育日数788日を記録し、さらに昭和59年に「ユーユー」が1379日を記録しました。飼育1000日目には、松島町準名誉町民となり、大きな話題となりました。 「ブクブク」と「ユーユー」のはく製は松島町役場に飾られています。
問3	4 あ・ら・伊達な道の駅	国土交通省では、全国の道の駅のうち6か所を「全国モデル道の駅」、35か所を「重点道の駅」、49か所を「重点道の駅候補」に指定しています。宮城県では唯一「あ・ら・伊達な道の駅」が「重点道の駅」に選ばれました。なお、平成28年には、県内13か所目の道の駅「三滝堂」が登米市にオープンします。 【その他選択肢】 1.道の駅津山「もくもくランド」 2.道の駅路田里はなやま自然薯の館 3.道の駅上品の郷
問4	1 かまぼこ	仙台市のかまぼこの一世帯当たりの年間支出金額(平成24年～26年平均)は、13,813円で、2位の長崎市と7,019円差でした。かまぼこ製品が歴史に初めて登場したのは、永久3年(1115年)です。当時の古文書「類聚雑要抄(るいじゅぞうようしょう)」に宴会料理のスケッチがあり、その中にかまぼこが記録されています。この西暦にちなみ11月15日が「かまぼこの日」となりました。
問5	1 サンゴ	南三陸町とチリは、昭和35年のチリ地震津波をきっかけに友好関係を深めてきました。平成3年には南三陸町志津川地区の松原公園に、チリ人彫刻家に依頼して創られたモアイ像が設置されました。 東日本大震災で公園は被災し、モアイ像も流出しましたが、その後新たに、イースター島の長老会から寄贈されました。イースター島の石を使い彫られたモアイ像が、島外を出たのは初めてのことです。完成したモアイ像が贈呈されるときに、白珊瑚と黒曜石で作られた目が入られました。
問6	3 大倉ダム	広瀬川の支流である大倉川に建設された大倉ダムは、仙台市青葉区にある、美しいダブルアーチダムとして有名です。2連(ダブル)のアーチダムは日本ではここだけです。
問7	4 えごま	「くりこま漢方牛」は地元のえごまなどを配合したオリジナル飼料を与えて育てるのが特徴の一つです。「漢方牛」の他に「漢方豚」もあります。市内の直売所などで購入できるほか、飲食店でステーキなどを味わうことができます。
問8	1 6月12日	昭和53年6月12日の宮城県沖地震を契機に、同日を「みやぎ県民防災の日」と定め、この日にあわせ、大規模な総合防災訓練が行われています。 【その他選択肢】 2.平成20年6月14日 岩手・宮城内陸地震 3.平成23年3月11日 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災) 4.平成17年8月16日 8・16 宮城県沖地震
問9	2 仙台箆笥	「仙台箆笥」は江戸時代末期から製造されはじめ、木地は樺を主体とし、木地呂塗りで仕上げ、牡丹や唐獅子などの文様の手打ち金具で装飾されているのが特徴です。県の伝統的工芸品のうち、「宮城伝統こけし」「雄勝硯」「鳴子漆器」に続いて、国の指定を受けました。
問10	3 行基	柳津虚空蔵尊は行基が虚空蔵菩薩を刻んだことに縁起しているとされ、二本尊の脇に従う大黒天と毘沙門天は弘法大師の作と伝えられています。また、大鳥居は木製の鳥居としては東北一、全国でも第3位の大きさを誇ります。 なお、行基は奈良時代の大僧正で、奈良の大仏造立の責任者ともいわれています。様々な地域で積極的な布教活動をしており、全国には行基に縁起する寺や温泉が数多くあります。一説によると、作並温泉も行基が東北地方巡行の際に発見し、人々に伝えたとされています。
問11	2 ツツジ	徳仙丈山では、ヤマツツジとレンゲツツジの群生が見られます。毎年5月下旬になると山頂が赤く染まって見えるほど花が咲き乱れます。この時期の土日には期間限定で、JR気仙沼駅から登山口まで「つつじバス」が運行されています。

問12	2	蔵王ハイライン	蔵王ハイラインは、蔵王エコーラインの最高点・刈田峠から分岐した、全長2.5kmの有料自動車道です。登った先の駐車場から御釜の展望台までは、徒歩5分で行くことができます。なお、11月上旬から4月下旬の間は、冬期通行止めになります。
問13	4	桃生	桃生茶は江戸時代に伊達政宗が殖産振興で栽培を奨励して以来の歴史を持っています。一般的な収穫時期の目安「八十八夜」に比べて20日ほど収穫が遅いため、「百八茶」とも呼ばれており、百八歳が「茶寿」に当たることから、縁起の良いお茶ともいわれています。
問14	1	石巻市-海岸前商店会	石巻市には、JR石巻駅前に石巻立町復興ふれあい商店街などがありますが、海岸前商店会は気仙沼市魚町にあります。気仙沼市にはこのほか、復興屋台村気仙沼横丁などの復興商店街があります。(H27年11月時点)
問15	1	宮戸島	里浜貝塚のある宮戸島は東松島市にある、松島湾で最大面積を持つ島です。里浜貝塚はこの島の西部に位置しています。近くの奥松島縄文村歴史資料館では、土器の他、貝塚の断面や装身具などを展示し、縄文人の知恵と生活を分かりやすく紹介しています。
問16	4	庭園	「旧有備館および庭園」は昭和8年に国の史跡および名勝に指定されている、日本最古の学問所跡です。正徳5年(1715年)頃、仙台の茶人・清水道竿によって造られた庭園は、池の中に小島を配した回遊式池泉庭園で、四季を通して庭の変化を楽しむことができます。
問17	2	龍雲院	林子平は、幕末、ロシアの南下政策に強い危機感を抱き、日本沿岸防備の必要性を説きましたが、それは幕府の海防の不備を批判する内容でもありました。このため、幕府はこれを幕政批判とみなし、蟄居を命じました。子平は無念のうちに病没し、仙台城下、北山の龍雲院に葬られました。しかし、彼の死後、江戸幕府は海防強化策を図りましたが、その基層には「海国兵談」の理念が組み込まれたとされています。
問18	1	サバだしラーメン	石巻市飯野川地区に伝わる、料理にサバだしを使う食文化にちなんで作られたのがサバだしラーメンで、風味豊かなあっさり系のスープが特徴です。現在では主に飯野川地区の飲食店で食べることができ、家庭用向け商品としても販売が開始されました。
問19	1	距離-13.9km, 駅数-13駅	仙台市営地下鉄東西線は、平成27年12月6日に開業しました。八木山動物公園駅は標高136.4mで日本一高いところにある地下鉄駅として認定されており、東西線の西の起点駅で地下3階にホームがあります。
問20	2	土井晩翠	日和山公園は旧北上川河口に位置する丘陵地にあり、石巻市内を一望できる場所です。公園内には松尾芭蕉の像や句牌、宮沢賢治の詩碑、石川啄木の歌碑のほか、斎藤茂吉や種田山頭火などの碑が建てられています。
問21	4	90%	観光客入込数は平成23年には震災前の約70%まで落ち込みましたが、平成26年時点では約90%まで回復しています。しかし、沿岸部を見てみると、平成26年時点でも未だ約60%と回復は遅れています。
問22	4	吉岡八幡神社(大和町)	馬を使った流鏝馬は、9月に吉岡八幡神社と大崎八幡宮、7月に鹽竈神社で行われます。ちなみに馬は使いませんが、篁峯寺の白山祭では稚児が、小斎鹿島神社の奉射祭では10人の大人が弓を射ます。
問23	4	仙台空港	この陶板画は、メガネをかけた金華童子が風神、雷神を従え、金魚に跨って波を越えている様子を描いたもので、平成27年3月に仙台空港1階の国際線ロビーに飾られ、国内外の人の目を楽しませています。
問24	3	胃病を患う父のため	温麺は、胃の弱い父親のために、小麦粉と塩水でつくったことに由来するといわれています。この誕生秘話に感銘を受けた片倉小十郎が「人を思いやる温かい心を持つ麺」という意味をこめ、「温麺」と名づけたともいわれています。
問25	4	(南三陸町と石巻市の境)	南三陸町屈指の景勝地である神割崎は、二つに割れた岩の間から太平洋の荒波が流れ込む様子が迫力満点です。例年、2月中旬と10月下旬には、ちょうど岩の間に日の出を望むことができます。
問26	4	青根温泉(川崎町)	青根温泉オリジナルの日本酒「思手成し酒」は、町内で酒造りをしている新澤酒造の協力を得て製造されている食中酒です。スッキリとした飲み口で、爽やかな余韻が特徴です。一般には販売されていません。
問27	4	加美町	宮城県雪合戦大会は加美町小野田で行われます。一般の部・女子の部・ミックスの部・ジュニアの部があり、一般の部の優勝チームは日本選手権や国際雪合戦への出場権を得ることができます。

問28	1	夢メッセみやぎ	5年に1度開催されるこの大会は、全国から代表牛約500頭が出品されます。優秀な成績を収めることで、その和牛ブランドの市場価値が全国的に高まるため、参加道府県にとっては、まさに威信をかけた大会となります。
問29	4	武隈の松(二木の松)	文化庁では、「おくのほそ道」に関係する優れた風致景観を保護していくことを目的に、「おくのほそ道の風景地」として名所旧跡を文化財指定しています。平成26年に「武隈の松」が指定され、岩沼市で初めての国指定文化財となりました。県内では「武隈の松」を含め、平成27年時点で全国最多となる7か所が指定されています。
問30	3	モンスター・ゴールド	「モンスター・ゴールド」は、明治37年アメリカで行われたセントルイス万国博覧会にも出品されました。平成24年にリニューアルオープンした鹿折金山資料館では、「モンスター・ゴールド」の写真のほか、往時の金鉱石、工具、文献などが展示されています。
問31	4	警察	登米市の「明治村」には、明治・大正時代の洋館が点在しています。警察資料館は、明治22年に建てられ、昭和43年まで登米警察署として使われた建物を使用しています。資料館では、警察官の制服や白バイなどを展示しており、当時の留置場に入ることができます。 【その他選択肢】 1.教育資料館 2.武家屋敷 春蘭亭 3.水沢県庁記念館
問32	1	栗駒山-鳴子-蔵王山	気象庁によると東北地方には18の活火山が存在し、宮城県には3つ存在します。このうち、栗駒山と蔵王山が気象庁の常時観測火山に指定されています。
問33	2	仙台長なす	仙台長なすは、伊達政宗が持ち帰った後、仙台の気候と風土によって長い年月をかけて独特の細長い形になったといわれています。肉質は柔らかく、漬物で食べられることが多いです。
問34	3	石巻線 - 陸前稲井駅	陸前稲井駅は、真野川が旧北上川に合流する地点の付近にある駅です。 【その他選択肢】 1 館腰駅-東北本線 2 岡駅-阿武隈急行 4 塩釜駅-東北本線
問35	3	サンマ	むすび丸は平成25年9月5日から宮城県観光PR担当課長に就任しました。好きな食べ物は三陸沖で取れる魚で、その中でも特にサンマが好き。わかめの味噌汁がつくど最高！とのこと。平成27年度には、県産水産物の消費拡大に一肌脱ぐため、水産バージョンのむすび丸がお目見えしました。
問36	—	鶴亀大橋	本土の鶴ヶ浦地区と大島の亀山を結ぶことから、鶴亀大橋という愛称が付けられました。海に橋脚を建てず、巨大な弧を描くシルエットが特徴の中路アーチ橋構造で、アーチ支柱間の長さ297mは東日本最長となります。平成30年度の完成を目指しています。
問37	—	鬼小十郎まつり	「鬼小十郎まつり」は、二代目重長と真田幸村の激闘を再現する「片倉軍vs真田軍決戦～大坂夏の陣・道明寺の戦い～」や消防団による階子乗りなど見どころ満載のまつりです。舞台となる白石城は、慶長7年(1602年)に初代片倉小十郎景綱が入城以降、明治維新までの260余年間にわたり片倉家の居城でした。
問38	—	ゆぼっぼ	平成27年3月に再開した女川温泉「ゆぼっぼ」は町営の低張性アルカリ性温泉です。浴室の他に、展望デッキや交流スペースもあります。
問39	—	しばた千桜橋	「しばた千桜橋(せんおうきょう)」は船岡城址公園の千本の桜と白石川堤の一目千本桜を結ぶ歩行者専用橋です。この名前には美しい桜が永遠に咲き誇って欲しいという願いがこめられており、柴田町の新しい観光スポットとなっています。
問40	—	セリ	本県は全国でも1、2位を争うセリの生産地です。冬の特産品として全国に出荷されており、シャキシャキとした食感と香りが特徴で、セリ鍋にすると根っこから葉先まで味わえます。
問41	—	郡山堰	郡山堰は嘉永6年(1853年)頃に、郡山村の肝入(村を収める役)だった小倉三五郎(撫松)が、水不足に悩まされていた村のために、完成させたものといわれています。この堰から引かれた水が通る郡山堀は、現在でも見ることができます。
問42	—	(島)田代島、(動物)猫	田代島は、猫の島として観光客を集めており、猫を祀った神社は「猫神様」と呼ばれて親しまれています。島内には、漫画家のちばてつや氏と里中満智子氏がデザインした猫の形のロッジが建つキャンプ場やポケットビーチ(人工海水浴場)などもあります。
問43	—	わくや万葉の里	現在の涌谷町では天平時代(8世紀前半)に、日本最初の金が発見され、東大寺大仏の造営に使われました。日本にはないと思われていた金が発見された喜びを大伴家持は「すめろぎの御代栄えんとあづまなるみちのく山にくがね花さく」と歌い、万葉集に遺しました。

問44	—	心臓	サメは、ヒレだけが使われているわけではありません。心臓は「モウカの星」と呼ばれ、血抜きをされ、刺身で食べられます。あっさりとして歯ごたえも良く、生レバーを思わせる風味ともいわれています。その他、肉はかまぼこなどの加工食品に、皮はバッグ等にそれぞれ利用されています。
問45	—	岩出山の竹細工	しの竹細工は享保元年～21年(1716～1736年)頃、岩出山城主が京都の竹細工職人を招いたことから、作られ始めたと伝えられています。「しの竹」の皮の部分を用いて表皮を内側にして丁寧に編みこまれているため、指に優しく水切れが良いなど、機能的に優れています。
問46	—	うさぎ玉(あんこ玉)	「仙台駄菓子」は江戸時代頃にその原型が誕生したといわれている、伝統的なお菓子です。うさぎ玉(あんこ玉)のほか、みそパンやきなこねじりなどの種類があります。
問47	—	萬画館	「石ノ森萬画館」は、萬画家・石ノ森章太郎の世界が広がるマンガミュージアムで、漫画は無限の可能性をもつメディアであることから、万物を表現できる「萬画」であると提唱した「萬画宣言」に由来しています。
問48	—	①寒湯, ②温湯	①正式名称は「仙台藩仙北御境目寒湯御番所」。秋田藩に通じる「花山越え」の要衝に置かれた境目関所です。街道をまたぐ茅葺切妻造四脚門と関所守の役宅が現存しています。何れも幕末の建築ですが、関所遺構として残存するのはめずらしく、国の史跡にも指定されています。 ②「温湯山荘」のある温湯温泉(花山温泉)は、1150年頃、山が崩れたのがきっかけで温泉が湧き出したといわれています。元は「寒湯」と書きましたが、明治以降「温湯」と改められました。
問49	—	めいぼくせんだいはぎ	仙台藩が香木(きやう)の一種である伽羅(きやら)の名木「柴舟」を所有していたことから、「伽羅」を「めいぼく(名木)」と読ませています。三代藩主・綱宗が伽羅の下駄を履いて吉原に通ったとの巷説によって生まれた演目です。
問50			これは、村田町の説明です。 ①「布袋まつり」は、10月に行われる伝統行事です。町中心部を歩行者天国とし、3台の華やかな山車行列やすずめ踊り、よさこいなどが披露され、町がにぎわいます。 ②村田町は流通の要衝地であったことから、商人により建てられた蔵により、現在では蔵の町といわれています。また、特徴のある歴史的風致を残しているという点から、伝統的建造物群保存地区に指定されています。